

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子

事務所 中延 2-1 1-7 TEL 3 7 8 3-8 8 3 3  
自宅 中延 3-1 2-6 TEL 3 7 8 6-9 3 2 9

## 署名1430人

# 福祉タクシー券ふやして

### 品川区—「ご要望の趣旨は十分承りたい…」

区名	視力障害	限度額(月)
江戸川区	1～2級	6,000円
板橋区	1～2級	4,500円 ～5,000円
杉並区	1～2級	5,300円
渋谷区	1～2級	4,600円
練馬区	1～3級	3,500円
千代田区	1～2級	3,250円
大田区	1～2級	3,600円
新宿区	1～2級	3,500円
北区	1～2級	3,500円
荒川区	1～2級	3,400円
中央区	1～2級	3,333円
台東区	1～2級	3,300円
江東区	1～2級	3,300円
中野区	1～2級	3,300円
豊島区	1～2級	2,800円
世田谷区	1～2級	3,200円
文京区	1～2級	2,700円
港区	1～3級	2,500円
目黒区	1～2級	2,500円
葛飾区	1～2級	2,500円(重度) その他1,666円
足立区	1級	2,433円
品川区	1級	2,300円
墨田区	1～2級	2,083円

430万円です。視力障害2級対象に  
—視力障害2級対象に  
今回の請願の趣旨は、福祉タ  
クシー券を①視力障害2級まで  
対象にしてほしい。②支給枚数  
を増やしてほしいの2点。  
左表をご覧ください。  
視力障害2級を対象にしてい  
ないのは、23区で品川区と足立

区は、視力障害2級の方の人  
数と、対象にした場合の経費を  
区は2区だけ。視力障害2級は  
失明のわかる程度で、特に中途  
失明の方は一人で外出が困難で  
す。支給枚数の金額は23区の中  
で下から2番目という低さ。品  
川の福祉タクシー券は23区で最  
低レベルです。

西中延2丁目の方からの「福祉タクシー利用券の拡充を求め  
る請願」は、1430名の署名が集められ区議会に提出。2月  
26日の厚生委員会で審査されました。私・鈴木は採択を求めて  
頑張りました。自民・公明・民主・無所属が廃案としましたが、  
審議を通して視力障害対象拡大への希望が見えてきました。

質問。対象者は154名。経費は430万円とのことでした。品川区の予算の0.003%。やる気になればすぐにでもできる額です。



**視力障害2級への拡大について**  
「ご要望の趣旨は十分承りたい。：精査をして今後どうしていくか考えた」  
— 障害者福祉課長

**私・鈴木は**「視力障害2級を対象にしてほしい」という要望に対する区の考え方を聞きました。

**課長は**「今回、こういうご希望をいただいた。ご要望の趣旨は十分承りたい。難しいのは単純に級だけで判定していいのかというところ。：もう少し精査をして今後どうしていくのか考えていきたい」と検討を約束しました。

### 「2300円の額を増やす考えはございません」

— 障害者福祉課長

**私・鈴木は**、腎臓が悪くて人工透析を週3回受けている方から、「特に帰りはぐったり疲れてしまいタクシーを使わざるを得ない。タクシー代だけでも月2万円を越えてしまい、年金暮らしで大変だ」という話を聞いていましたので、その具体例と横浜市では人工透析の方に倍額支給されている例を出し、また23区でも下から2番目という低さからも枚数を増やしてほしいと求めました。

**課長は**、「金額がいくらが妥当かは難しい。切がないところもある。現在、2300円を變えるつもりはありません」と増額に対しては冷たい答弁でした。

### 自民・公明・民主（区民連合）・無所属が廃案に

4月に改選となるため、今回「継続」となっても継続審査されることはなく、廃案になりました。

す。そのことがわかっていながら、自民・公明・民主（区民連合・木下議員）・無所属の4人が「継続」を主張し廃案としました。

共産党（鈴木・飯沼）・ネットの3人が賛成しました。

**公明**：私の友達に人工透析を受けている人がいるが、自分で歩いていたり、自転車で行ったりという人が随分いる。一律2300円のタクシー代が支給されるのが果たしてどうなのか。

**無所属（西本議員）**：お金とかという問題もあるが、福祉をみんな支えていくんだという視点での政策展開も必要。そうすれば、お金を、タクシー券をどうのこうのという前にもっと良い環境が出来るのではないか。人工透析の方は福祉タクシー券が必要なのか。

**区民（木下議員）**：一律に出すと不正利用されるなどいろいろな問題が出てくる。

などが「継続」の主な理由です。

障害のある方が生きやすい社会が、みんなが希望もてる社会

障害のある方が生きやすい世の中が、すべての人に生きやすい社会であり、みんなが希望の持てる社会の土台だと思います。

私は、障害者自立支援法についても負担軽減・応益負担撤回を求め取り組んできましたが、引き続き福祉タクシー券の拡充についても皆さんと一緒に取り組んでいきます。

**無料** 法律・生活相談会

**4月26日(木)**

午後6:30~

**鈴木ひろ子事務所**

中延2-11-7 Tel3783-8833  
弁護士さんに対応します。

**日本共産党**